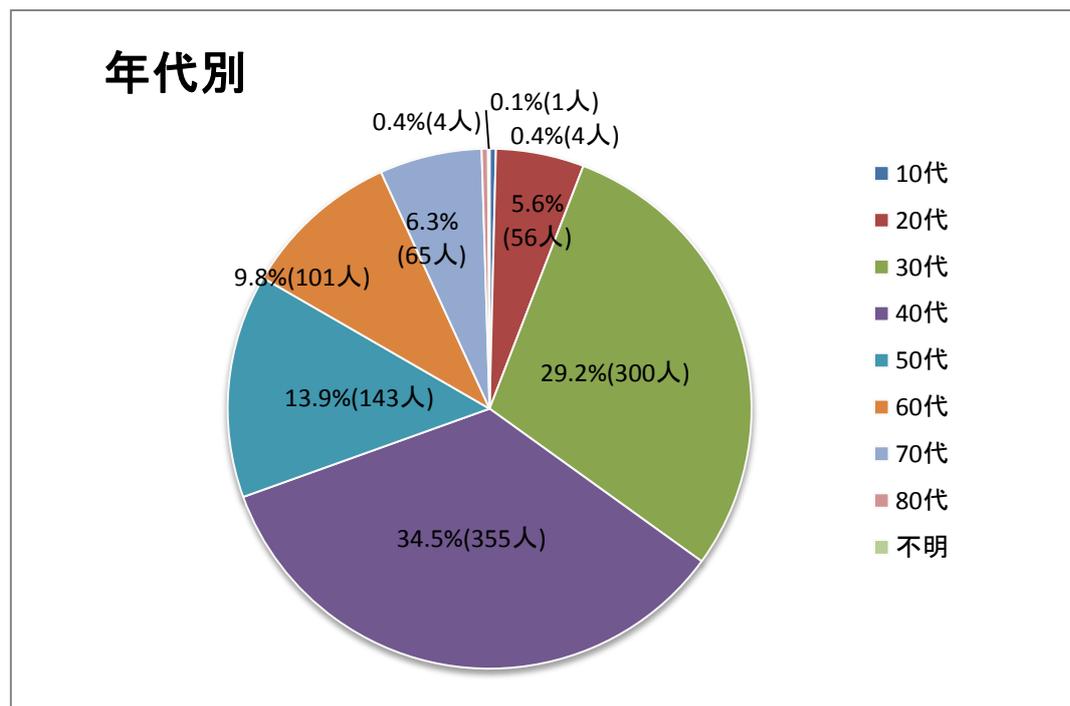
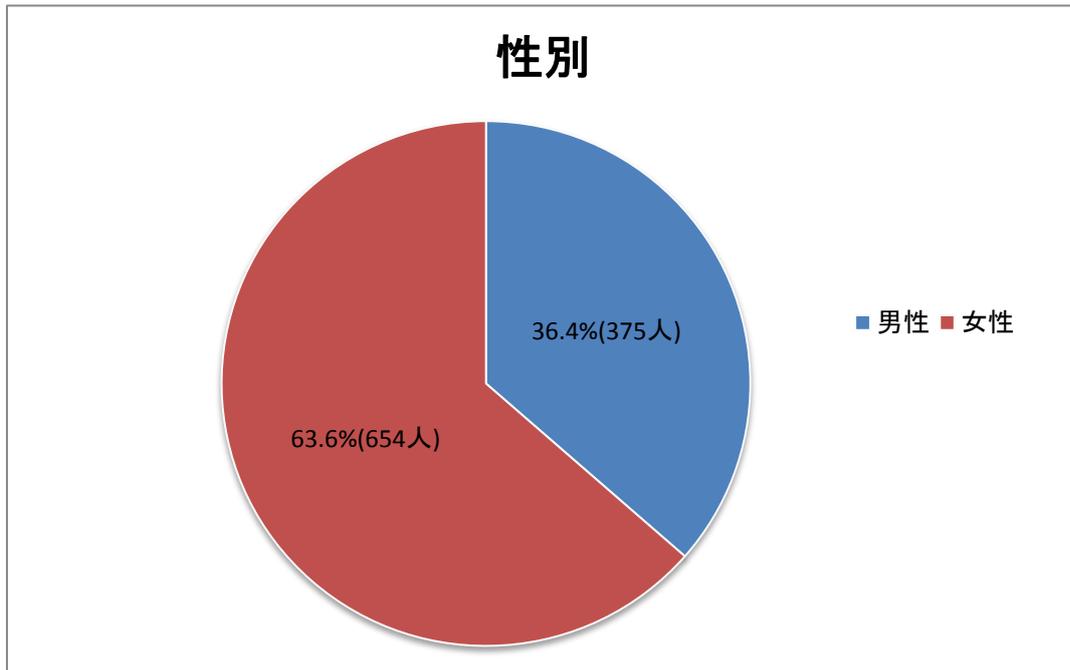


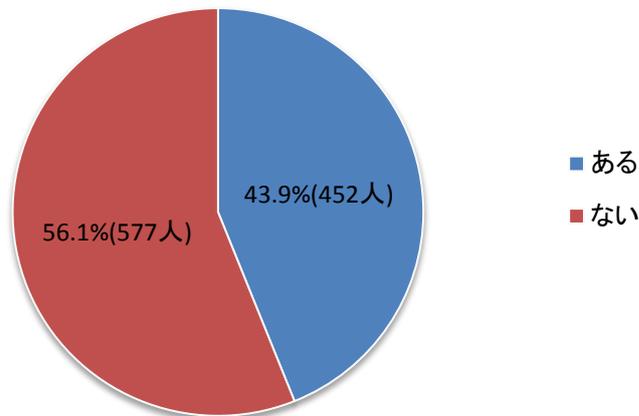
第10回eモニターアンケート「農業体験について」

実施期間
回答数

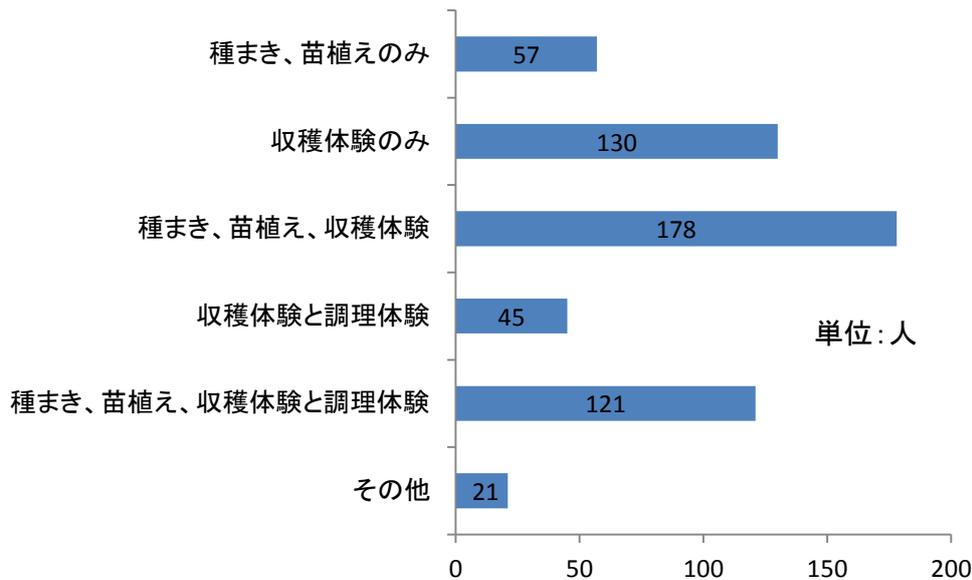
平成28年12月9日 ~ 平成28年12月18日
1029 人



問1:農業体験の参加経験



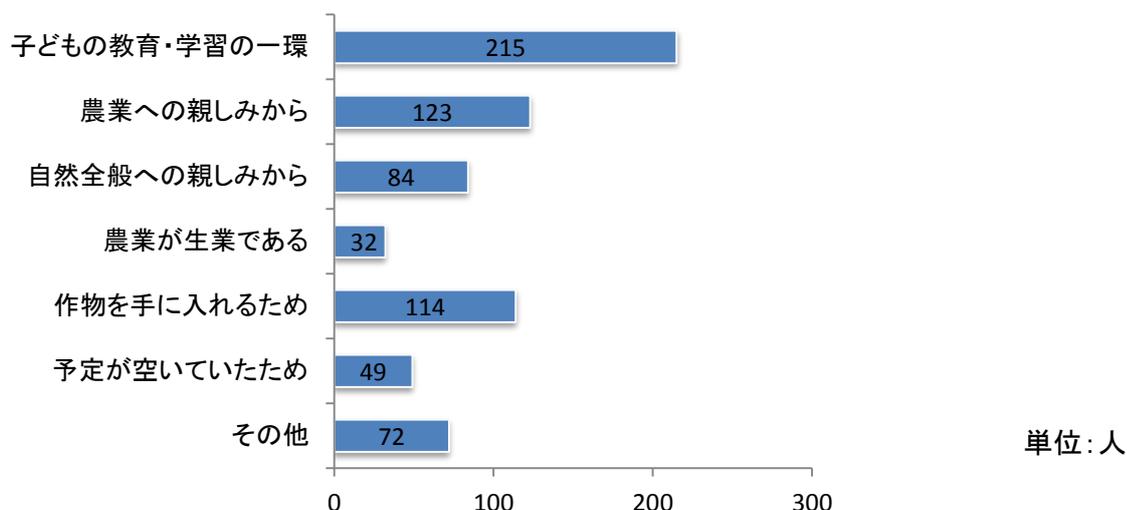
問2:参加経験のある農業体験の組み合わせ(複数回答)



【その他意見】

- ・ JA主催のあおみっこ
- ・ アグリセンターでの野菜栽培
- ・ 農地を保有しておりすべての作業を行っています。
- ・ 耕運、種まき、苗植え、収穫
- ・ 実家の生業
- ・ 農業高校出身なんで、一通り経験済み
- ・ ランの栽培体験
- ・ 高校が農業高校
- ・ レジャー農園で野菜作り
- ・ 神社の宮係として収穫体験と、稲わらの陰干し、ハカマ取り、しめ縄づくり、コモ編みを体験
- ・ 明治用水の歴史についての講習、矢作川取水場の見学等
- ・ 剪定
- ・ 耕運、草取り、収穫
- ・ 苗植え、収穫、調理体験です。
- ・ 実家の手伝い
- ・ 畑を耕す
- ・ アグリ農園で1年間野菜作り方を体験した。
- ・ 梨の花粉用花摘み、摘蕾、受粉、摘果など
- ・ 雑草取り
- ・ 畑の土起こし

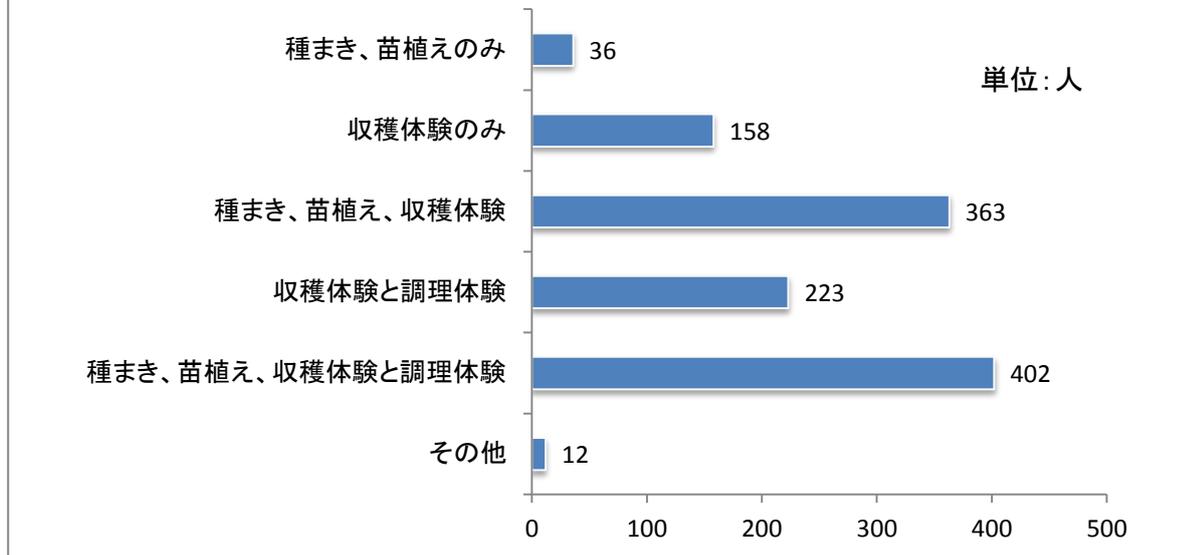
問3:農業体験に参加した主な理由(複数回答)



【その他意見】

- ・ 親類の手伝いのため
- ・ 生家が農業なのでその手伝いとして
- ・ 子供のころ祖父の家で稲刈りを手伝った
- ・ 妻の実家の手伝いとして
- ・ 農学部出身で授業の一環として
- ・ 学校行事
- ・ 親戚の家が農家だったので、子供のころに手伝った経験があるため
- ・ 知人の手伝い
- ・ 高校の実習
- ・ 親が家庭菜園をしている
- ・ 高校が農業高校だったため。
- ・ 兼業農家の家に育ったから
- ・ アルバイト
- ・ 誘われたから
- ・ 農家の息子だから。
- ・ 子どもと一緒に、田植えや刈り取り体験がしたかった。
- ・ 学生時代の経験を生かすため
- ・ 中学生時代に学校から行った
- ・ 親が高齢で畑仕事が出来なくなったため
- ・ 無農薬野菜を育ててみたかったから。
- ・ 1、収穫体験に誘われた。2、実家が兼業農家。現在は畑だけだが、父が他界して母が高齢なのでたまに手伝う。
- ・ 神社の宮係としての役割から
- ・ 作物を育て収穫する体験したかった。
- ・ 趣味として野菜作りを勉強するため
- ・ 健康維持
- ・ 安全な野菜を手に入れるため
- ・ 親族の趣味の手伝い
- ・ 会社を退職後時間のゆとりから、土いじり。
- ・ 安全な野菜を安く手に入れるため
- ・ 家庭菜園の勉強になるから

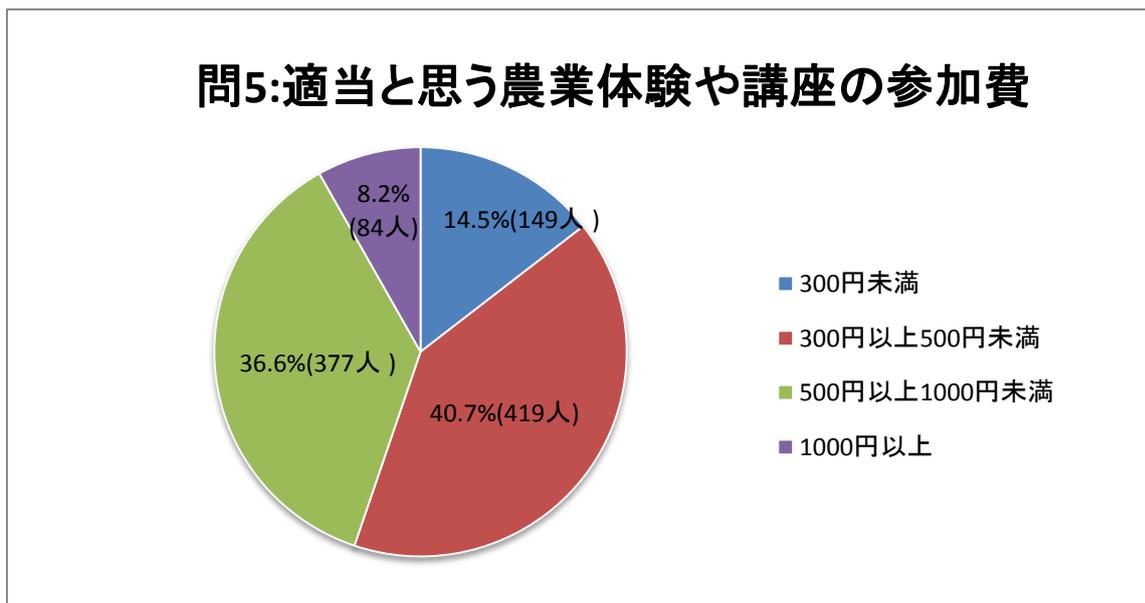
問4:参加したい農業体験の組み合わせ (複数回答)



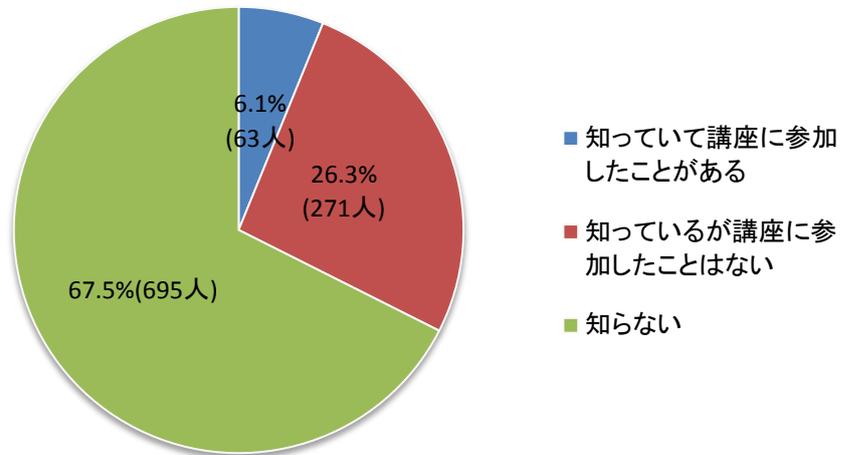
【その他意見】

- ・ あえて市等が主催する農業体験に参加したいとは思いません 自家生産自家消費です。
- ・ 土作り、種まき、苗植え、収穫体験
- ・ 目的や実施の程度が理解できない。単に体験なら不参加。
- ・ 害虫や病気に対する学習
- ・ 途中の草取りとかの手入れ体験も
- ・ 調理されたものが振る舞われる
- ・ 梨なら花粉用花摘み
- ・ 水やり
- ・ 草むしりとか、大変な作業も見てみたい
- ・ 収穫後～出荷作業

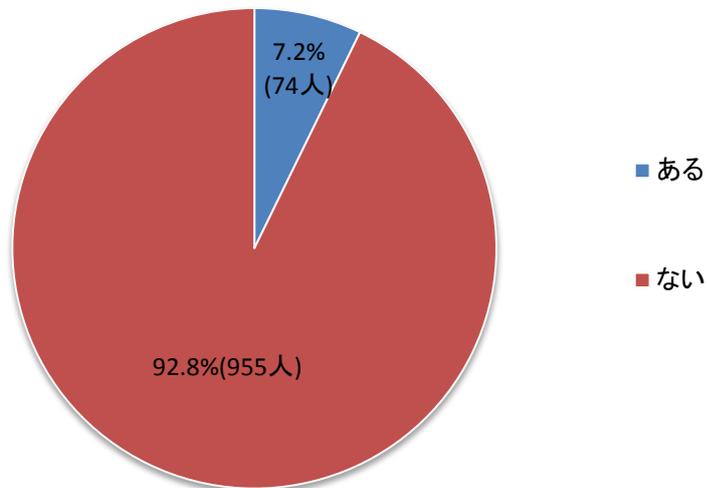
問5:適当と思う農業体験や講座の参加費



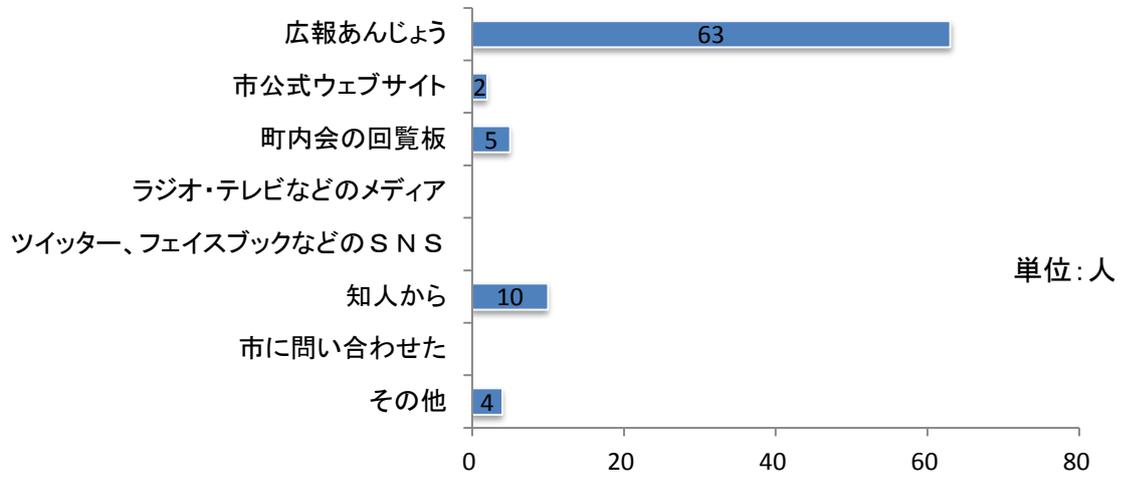
問6:アグリライフ支援センターの認知度



問7:市主催の農業体験の参加経験



問8:講座やイベント情報の入手先(複数回答) (問7で参加経験があると回答した人)



【その他意見】

- ・ 子ども会
- ・ 療育センター
- ・ 産直センターにチラシが貼ってあった
- ・ ボランティア団体のちらし

問9 農業体験や農業施策についての自由意見(抜粋)

アグリライフ支援センターについて、もう少しPRが必要であり、もう少し小規模で良いが、身近に同様な施設があれば、ぜひ参加したい。

大人でも農作業してないので、勉強が出来る場所なので良いとおもう。

大人も子供も、年齢や体力に応じて、余暇を利用した無理のない体験ができるといいと思います。

せっかく農業が盛んな地域なので、もっと手軽に農業体験が出来る機会が増えるといいと思う

庭先の一坪農園やベランダ菜園など、ちょっとやってみたい大人向けの講座があると嬉しい。本格的な農業ではないけれど、土づくりの基本や、それぞれの季節に植えるとよい、花や野菜の種類を教えてくれるような・・・。

小型の耕運機など、あると便利だが家庭菜園程度で購入するには高価な道具を無料or安価にレンタルしてもらえるとありがたいです。畑を借りた時に、耕すのが大変でした。

野菜が高騰なので自分でつくる安全な野菜を思う存分食したいとおもうこのごろです

子供会やPTAと連携して、対応されるといいかと思います。また、大人向けには農業を趣味でやられてる方もいると思うので、そのあたりの交流会みたいなのをやるなどして、活性化を図るなどしてもいいのでは？

アグリライフ支援センターは、未経験者のみとなっているが、もっと体験したい。経験者も参加させてほしい。

こういうイベントは家族連れが主な対象のため男性が一人で参加することはできません。男性一人でも参加できると嬉しいです。

アグリライフ支援センターの講座参加してみたいと思うのですが、曜日の都合がなかなかつかず・・・残念です。都合がつけばすぐにでも参加してみたいと思っています！

こどもがもう少し大きくなったら参加させたいので、そういった機会が充実していると嬉しいです。果物の収穫体験もしてみたいです。

子どもの食育を親子ともに汗を流し、食べ物を大事にする体験があるといい。

安城市の特産物や日本のデンマークと言われた経緯などの講義も受けながら、安城市ならではの農業体験ができればいいと思います。

子供とともに参加という体験が多いので、夫婦とかで参加できる体験機会を催してください。私が引っ越してきたときに比べて、イチジク畑とかが少なくなっているような気がします。もっと安城のイチジクや梨の知名度アップのためにお金を使って欲しいです。

家に畑があり、野菜を作っているが、仕事を退職した人で、時間がある人は、野菜を作ると良いと思います。ただこれまで会社員等で農業を一度も体験したことがない人、自宅に農地がない人にとって、アグリが積極的に活動することは、大変良いことだと思います。

何も植えていないのなら、せめて水を張っておいてくれると、温暖化対策にも、雑草対策にもなるし、鳥たちが休んでいる風景になごむのですが。茶色の地面が続くのも、除草剤で枯れた姿が続くのも、いやなものです。

年間を通じての種まきから収穫までの一連の農作業を子供に体験させてあげたい。また、中学生高校生であれば、生産から消費者のもとへ届くまでのことを体験を通じて学べると良いのではないかと思います。

自分で育てて収穫し食べられるのは楽しみであり美味しく食べられる

農業というとか、きついとか大変などのイメージがありそうで、参加するのに躊躇しそうなので、なにか大変なかにもそれ以上の喜びなどを得られるということを知ってもらえるような取り組みがあるといいと思います。

農業をするなら土地を貸してあげるとの申し出は頂いていますが、高齢化に伴いやる気は起きません。草取りなどの管理も大変です。

子供の教育の一環として積極的に参加したいと考えています。複数日数や時間帯を設定して多くの子供たちが参加できるようにして欲しいと思います。また収穫した後調理してすぐ食べられるような講座もあるとうれしいです。

さつまいも体験に子どもと参加し、とても楽しかったです。田植えは日程が合わず、残念でしたが、また来年参加したいです。中々、土とふれあう機会がないので、もっとイベントが多いといいです。

碧南にある、あおいパークみたいな、1年間時期により色々収穫体験が出来る所が安城市に出来たら嬉しい。

農業には まったく縁のない生活でしたが、テレビ等で農業体験を見ていると、楽しそうでいいなと思っていました。現在70歳になると、多くは出来ませんが、元気のあるシルバーたちで、ワイワイ言いながら少しだけ農業体験が出来たら、良いのでは、と思いました

農業体験は、たくさんの労力があってこそ、食べ物を口に入れることができることに改めて感謝する機会。そして、匂を感じる事ができる貴重な体験ができればと思います。

野菜の価格が高騰していますし、子供の食育にもつながると思うので、身近な野菜で気軽に自宅でも苗植えや収穫が可能なものを紹介して頂きたいです。また、無料もしくは安価で借りられる畑があると嬉しいです。

歳をとると畑を耕すのは大変な作業です。耕運機などを半日程度貸していただける制度があると良いですね。

農家と一般市民や子ども達が交流や意見を言える場にしていただくと、お互いの理解が深まるのでは。

子供たちには是非体験してほしいと思います。今は、食物を残したり粗末にする子供だけでなくお母さんもいるので、親子で体験できると良いと思います。

家庭菜園で農薬を使用しないで、虫食いの野菜や収穫できないこともあることを皆で学びたい。

安城市は以前、日本のデンマークと言われた、農業先進都市だったので、積極的に推進して欲しい。自給率や、食品廃棄など食に対する課題が多い昨今、農業体験を通じて、自然と共存し、野菜を育てる大変さを知ることは若い世代には必要と思う。また、休耕地を利用して家庭菜園を提供したり、農業に従事したい若者のサポートなどもあるとよい。農林高校とコラボしたイベントも在ってよいと思う。

指導者付き菜園を年間契約で貸付けて、自分で育て収穫する、収穫物を産直市場や道の駅で売ってみたりしていろいろ経験できるようにして[農]を理解してもらうことが必要。

食育のためにも子供に特に体験して欲しいです。レンジごはんが出来るのではないと体験して感じて欲しいです。

体験の値段は高くてもよいので、価値のある(珍しい野菜がとれる、量がたくさんとれる、おいしいものが安全に食べられるなど)農業体験にしたい

収穫してから、すぐ調理体験できたらいいです。

親子参加は、親子のふれあいや経験体験として、とても素晴らしいと思う。子供達が食べ物に対する感謝の気持ちを持つ良いきっかけになると思う。今後は時間を作って、種まきや収穫の体験に参加していこうと思う。

農業に今までまったく縁がないので、一度は体験してみたいと前から思っています。が、貸し農園をしてもきつと家から遠ければ続かなくなるし、一画だけでも自分には大きすぎる気がするし、本当に何も知らなくて行っていいものかとプレッシャーもあります。なので、田植えとか稲刈りとかの体験をさせてもらえるのなら、有料でも気軽に楽しく参加できるのかなーと思いました。

アグリセンターでの勉強は非常に良かったです 農業に対する考え方が若干変わりました また明治用水など安城の地政学的な勉強にもなりました アグリセンター的な施設や機会などを安城北部にもほしい

子供に農業の一端を体験させられる、とても良い機会を頂きました。また参加したいと思いますので、よろしくお願い致します。

実家が農家なのですが、畑の経験はありますが、稲作の、経験がないので！してみたいな。外国から来た新顔野菜を育てて調理して食べてみようみたいな講座をしたら、農家の方も参加したりできるのではないだろうか？安城といたら、梨とイチジクなので、梨とイチジクの体験もしてみたい。

農業体験は、本当に心が穏やかになります。是非イベントを開催してください！

農業体験をやりたい気もするが、体験する場所(田や畑など)が遠いと頻繁に行くのはちょっと大変。自宅のベランダでもできる、プチ農業の講習があると嬉しい。

日々の食生活に欠くことのできない新鮮な野菜の重要性をこの頃特に感じます。子供のころから農業体験が必要だと思います。

土日だけ野菜作りをしたいが、畑を借りると毎日作業しないと雑草が生えるし水やりもできない。土日だけ畑へ行っても野菜が収穫できるようにサポートしてくれるスタッフがいる農園で畑を気楽に借りて、スタッフと雑談をしながら野菜作りができればいいと思う。

56歳のサラリーマンです。退職後は農業にかかわる活動してみたいと思っていますが、そのための準備をそろそろ始めるのに、なにか体験学習や講習会などのイベントがあるといいです。

安城で取れる野菜で収穫や苗植えをして、食べるって言う事を企画してほしい。例えば、豆を収穫して味噌を作るとか、小麦を収穫してうどんを作るとかとても興味があります。

大人も子供も一緒になって種まきから収穫、料理まで一緒にやることにより自然の恵みをたいとくできるとおもう
出来れば3年くらいつづけると自然の厳しさもわかる。

こどものためか、農業を新規に始めたいひとのものというイメージがあります。気軽に土と触れ合える大人のための農業体験があるとうれしいです。

最近になって、妻が自宅の花壇を耕して、野菜等を育成しようと意欲を出してきました。アグリも検討していますが、遠方なので交通のことを考えると、難しいのかと。北部地区に出来れば歓迎です。

一回や二回では意味がないと思う。一年を通して経験でき収穫の楽しみ自分で調理し味わう楽しみを子供達に体験して欲しい。学校行事に地域の方に協力してもらい組み込めないだろうか

私は農業には無縁であり知識もありません。、しかしいろいろな人から話を聞くに安城の農業は全国的にも素晴らし技術水準にあるが、残念ながら若い後継者がいない、高齢者農業と聞く。これが事実であるならば、市として一番重点事項として取り組んでもらいたい。

安城市は農業に力があると思います。『日本のデンマーク』からさらに発展したキャッチコピーを日本中に発信してください。

農業に潜在的な関心のある人は多いのではないかと思う。

アグリライフセンター卒業生です。しっかり覚えたつもりでも何年か経過するとだんだん自己流になってしまい、よく失敗します。ライフセンターの先生に年1回ぐらい講習会をして頂けないでしょうか。案内が広報などにありましたら是非、参加したいと思います。

家庭菜園でプランターで季節の野菜は1年中育てています。田んぼでのコメ、麦、大豆などは経験がありません。
収穫はとてまたのしいものです。東京育ちですがもし田舎で育てていたなら農家に嫁に行ってたといつも思っています。残念。

農業は大変と感じる部分も大きいですが、生きるための食物を得る大切な作業であること、作物を育て、収穫できた時の喜びやありがたさを感じることは、大人にとって大切なだけでなく子供たちにとっても思いやり
の心を育てることができ、健やかな成長の一助になるのではないのでしょうか。

いちじく狩りなど安城市特産品の農作物の収穫体験などがあれば体験してみたいです。

安城の特産物である梨やイチジクの収穫体験が身近にあると、大人だけでなく、子供にも、自分の住む街がより魅力的になるとおもう。

土に親しむことは、とてもいいことだと思います。みそ汁のネギ一本での、どのようにできているか、できはどうか、会話が、家族やそのたでひろがります。JA 貸農園で、チャレンジしていますけど、教えてくださる方もいたり、収穫したものを、分けたりたのしんでいます。すばらしいことです。

小学生の子どもがいて子ども会に参加しているので学区に1区画体験農場があるとよいなあと思います 講師の方も派遣していただけるとよい経験ができるし子ども会の活性化にもなると思います

自家製の野菜を育てて収穫、調理する初心者用の講座を開いて興味のある市民が広く参加できるようにする。

安城市民は割と農業に近い暮らしをしていると思います。田んぼや畑に馴染みのない街の人たちが安城に来てくれるイベントが良いのではないのでしょうか。

食育の一環として、作物の種まきから収穫、肥料や農薬、旬などが学べるといいなあと思います。

自分の畑があるので、季節の野菜の豆まきの時期に合わせてワンポイント講座など気軽に参加できる物を作って欲しい。また時間も午後から参加できると嬉しいです。

いちごの苗植えに参加しました。親切に教えてくださり、自分でやるよりも専門的で為になりました。いちごも実って、楽しかったですし、困った時は写真を撮って画像を送ってもらえればアドバイスしますよ、という姿勢もとても好感が持てました。また参加したいくらいです。

- ・家庭菜園で出来ることを教えて欲しい。
- ・アグリライフ支援センターまでが家から遠いので、もっと違う場所にも作って欲しい。
- ・家の近くにあれば、町内会又は子ども会などの行事の一環として参加したり、共用出来るといいと思う。

父がアグリライフ支援センターの講習を受け、その後近くに畑を借りて家庭菜園をしています。その手伝いに駆り出される格好です。子供も畑で土まみれになって楽しそうです。

高くても良いので親子で楽しめて質の高いイベントを作って欲しい。
そうすれば、適当に参加する人が減って、本当に体験で学びたい人達が集まって主催者側もしっかり出来ますから。何とか実現出来ますように…

アグリライフ支援センターの多くの体験講座に以前から興味があるものの、アクセスの悪い場所な上に車に乗らないためいつも諦めている。持ち帰るものがあり、更に子ども連れだと車が必須。限られた人しか参加資格がなく残念です。

単発でなく、続く事業がよいのでは？

農業体験的なものでありがちなのが、問4のように、種まき、苗うえ、収穫、調理だが、生きているものを育てるのはその間にある手間だと思う。本当の意味で体験されるのならば、草取りや、普段の面倒な作業も含めると良い。ただ、そうすることによって参加者は減るのかもしれない。

1人でも恥ずかしげなく参加できるイベントがあれば良いです。

子どもの教育には必須やと思うから学校と連携して実施すべき。生き物との関わりが少ないと大切にすることができず、気持ちや思いやりがなくなってしまう。できることはどんな事でもやっていけるように支援すべき。